

平成31年度～平成33年度

県立高校等再編整備計画

— 生徒一人一人の夢を叶える特色ある学校づくりの推進 —



平成30年7月
新潟県教育委員会

はじめに

人口減少や社会の急激な変化が進む中、本県では生徒一人一人の能力を最大限に伸ばす教育環境の整備や、将来の新潟を担う人づくりが求められていることから、平成28年3月に、今後の学校・学科のあり方についての中長期的なビジョンである「県立高校の将来構想」を策定しました。

今回お示しする県立高校等再編整備計画は、「県立高校の将来構想」に基づいて、中学1年生が高校入学時の学校・学科のおおよその姿が分かるように、向こう3か年分について公表するものです。

本計画の策定にあたっては、小中学校の在籍生徒数や各高校の志願状況、中学生の進路希望等に加え、教育に対する社会のニーズや県の課題にも留意しました。なお、本計画における平成31年度から平成33年度の募集学級数の見込みは、現時点でのデータに基づく見通しをお示ししたものであり、平成31年度の募集学級数ならびに募集定員については、今後、最新の学校基本調査の結果等も踏まえ、本年10月の教育委員会の議決により、決定されます。

県立高校等の再編整備は、保護者をはじめとする県民の皆様の御理解・御協力が不可欠でありますので、現在の高校等の教育を取り巻く現状や本県の課題等を御理解いただき、一層の御協力を賜りますようお願いいたします。

平成30年7月5日

新潟県教育委員会教育長

池田 幸博

再編整備計画（平成31年度～平成33年度）

1 基本的な考え方

- (1) 「県立高校の将来構想」の「3つの基本方針」を踏まえた魅力ある学校づくりを目指し、本県独自の新たな「5つのタイプの高校」を順次設置していく。
- (2) 1学級あたりの生徒数を40人とし、1学年あたり4～8学級を望ましい学校規模としつつも、県立高校は地域コミュニティにおいて重要な役割を担っていることを踏まえ、地域の実情を考慮しながら、教育の質的な向上と学校の活性化を検討していく。
- (3) 県内を6つのエリアに分け、そのエリアごとの中学校卒業生数及び他エリアとの生徒の流出入状況等を勘案しながら、募集学級数の見込みを検討する。
- (4) 小規模校のあり方を検討する。
 - ① 小規模校においては、各学校における教育の特色化について、市町村や地元企業からの協働の提案等も踏まえて学校が取組を進める。なお、各学校における特色ある教育活動の取組状況や、志願状況・入学状況、卒業生の進路状況を評価しながら、地域の交通事情や地元生徒の入学状況など地域の特性にも配慮して、学校のあり方の検討を進める。
 - ② 小規模校における、教育の質的な向上や学校の活性化を進めるため、複数の学校による連携授業など教育システムの充実に向けた取組を進めるとともに、新たな分校形態など教育環境の整備を図る研究を進める。
 - ③ 定時制課程や通信制課程をもつ高校のあり方について調査・研究を進める。

[3つの基本方針]

- ◇ 様々な分野で活躍できるグローバル人材を育成する教育の推進
- ◇ 県外の生徒も学びたくなる魅力的な学校づくりの推進
- ◇ 地域との連携を深化させた人づくりの推進

[高校の5つのタイプ]

- ◇ 専門分野を探究する高校
- ◇ 学科総合型の産業高校
- ◇ 大学進学を重視した学究型の高校
- ◇ 総合選択制の高校
- ◇ 柔軟な学びを可能とする高校

2 計画内容

(1) 県立高校等の募集学級数等

		H30	H31	H32	H33
全県	中学校卒業生数	19,808	19,716	19,187	18,547
	前年差	-1,311	-92	-529	-640
		H30	H31	H32	H33
		募集学級数	募集学級数の見込み		
	全日制学級数	358	355	343	333
	全日制増減	-31	-3	-12	-10
	定時制学級数	19	18	16	15
	定時制増減	1	-1	-2	-1
	全定学級数	377	373	359	348
	増減	-30	-4	-14	-11
	全日制学校数	81	81	81	81
	学校数増減	-1	0	0	0
	定時制学校数	9	9	9	9
	学校数増減	0	0	0	0

※ 各年度の中学校卒業生数は、平成29年5月1日現在の学校基本調査による推計値である。

※ 学級数及び学校数は中等教育学校後期課程を含む合計数である。また、分校も1校として算入している。

<参考>新潟市立学校及び私立学校（全日制）の募集学級数等

[新潟市立学校]

		H30	H31	H32	H33
		募集学級数	募集学級数の見込み		
	全日制学級数	9	9	9	9
	増減	0	0	0	0
	定時制学級数	4	4	4	4
	増減	0	0	0	0
	全定募集学級数	13	13	13	13
	増減	0	0	0	0
	全日制学校数	2	2	2	2
	増減	0	0	0	0
	定時制学校数	1	1	1	1
	増減	0	0	0	0

[私立学校]

		H30	H31	H32	H33
		募集学級数	募集学級数の見込み		
	全日制学級数	115	115	115	115
	増減	0	0	0	0
	全日制学校数	16	16	16	16
	増減	0	0	0	0

※ 総務管理部大学・私学振興課調べ

※ 新潟市教育委員会による計画

(2) エリアごとの計画

(エリア① 新発田市、村上市、阿賀野市、胎内市、聖籠町、関川村、粟島浦村)

	H30	H31	H32	H33
中学校卒業生数	2,155	2,104	2,066	2,020
前年差	-164	-51	-38	-46
	H30	H31	H32	H33
	募集学級数	募集学級数の見込み		
全日制学級数	39	39	38	38
増減	-5	0	-1	0
定時制学級数	5	4	4	3
増減	2	-1	0	-1
全定学級数	44	43	42	41
増減	-3	-1	-1	-1
全日制学校数	9	9	9	9
増減	-1	0	0	0
定時制学校数	2	2	2	2
増減	0	0	0	0

◆ 再編整備の概要

平成31年度	<ul style="list-style-type: none"> ・中条高校に地域産業コース(仮称)を設置し、「総合選択制の高校」とする。 ・新発田高校理数科内にメディカルコースを設置する。
平成32年度	<ul style="list-style-type: none"> ・阿賀野高校に地域と連携した特色のあるコースを設置し、「総合選択制の高校」とする。
平成33年度	予定なし

検討事項	<ul style="list-style-type: none"> ・就学の機会や交通事情など地域の特性を斟酌しながら、新たな高校の5つのタイプをバランスよく配置する。 ・小規模校の特色化やあり方について検討する。
------	--

◆ 募集学級数の見込み

< 全日制課程 >

高校名	学科	募集学級数	募集学級数の見込み		
		H30	H31	H32	H33
村上	普通	4	4	4	4
村上桜ヶ丘	総合	4	4	4	4
中条	普通	3	3	3	3
新発田	普通	6	6	6	6
	理数	1	1	1	1
新発田南	普通	4	4	4	4
	機械工学	4	4	4	4
	建築工学				
	土木工学				
電子情報工学					
新発田農業	生物資源	4	4	4	4
	食品科学				
	環境科学				
新発田商業	商業	3	3	3	3
	情報処理	1	1	1	1
阿賀野	普通	3	3	2	2
計		37	37	36	36

< 定時制課程 >

高校名	学科	募集学級数	募集学級数の見込み		
		H30	H31	H32	H33
西新発田	普通(午前部)	3	2	2	2
荒川	普通(午前部)	2	2	2	1
計		5	4	4	3

< 中等教育学校 >

学校名	課程	募集学級数	募集学級数の見込み		
		H30	H31	H32	H33
村上中等教育学校	前期課程	(2)	(2)	(2)	(2)
	後期課程	2	2	2	2

(エリア②) 新潟市、三条市、加茂市、燕市、五泉市、弥彦村、田上町、阿賀町)

	H30	H31	H32	H33
中学校卒業者数	9,387	9,455	9,124	8,973
前年差	-568	68	-331	-151
	H30	H31	H32	H33
	募集学級数	募集学級数の見込み		
全日制学級数	156	156	150	148
増減	-14	0	-6	-2
定時制学級数	2	2	1	1
増減	0	0	-1	0
全定学級数	158	158	151	149
増減	-14	0	-7	-2
全日制学校数	29	29	29	29
増減	0	0	0	0
定時制学校数	1	1	1	1
増減	0	0	0	0

◆ 再編整備の概要

平成31年度	・阿賀黎明高校において、連携型中高一貫教育を実施する。
平成32年度	・新潟向陽高校を単位制による全日制課程に改組し、様々な進路希望に対応できる「柔軟な学びを可能とする高校」とする。
平成33年度	予定なし

検討事項	<ul style="list-style-type: none"> ・就学の機会や交通事情など地域の特性を斟酌しながら、新たな高校の5つのタイプをバランスよく配置する。 ・地域と連携した特色あるコースの設置について検討する。 ・小規模校の特色化やあり方について検討する。 ・先端産業を学ぶ学科等の設置について検討する。 ・三条高校へのメディカルコースの設置について検討する。
------	---

◆ 募集学級数の見込み

<全日制課程>

高 校 名	学 科	募集学級数	募集学級数の見込み		
		H30	H31	H32	H33
豊栄	普 通	3	3	2	2
新潟	普 通	7	7	7	7
	理 数	2	2	2	2
新潟中央	普 通	5	5	5	5
	普通(学究コース)	2	2	2	2
	食 物	1	1	1	1
	音 楽	1	1	1	1
新潟南	普 通	8	8	8	8
	普通(理数コース)	1	1	1	1
新潟江南	普 通	8	8	7	7
新潟西	普 通	8	8	7	7
	普通(学励コース)	募集変更			
新潟東	普 通	7	7	7	7
新潟北	普 通	6	6	5	5
新潟工業	機 械	2	2	2	2
	電 気	2	2	2	2
	建築(建築コース)	1	1	1	1
	建築(建築設備コース)	1	1	1	1
	土 木	1	1	1	1
	工業化学	1	1	1	1
新潟商業	総合ビジネス	5	5	4	4
	情報処理	2	2	2	2
	国際教養	2	2	2	2
新潟向陽	普 通	6	6	5	5

<全日制課程>

高校名	学科	募集学級数	募集学級数の見込み		
		H30	H31	H32	H33
巻	普通	7	7	7	7
巻総合	総合	5	5	5	5
新津	普通	7	7	7	7
新津工業	工業マイスター	1	1	1	1
	生産工学	1	1	1	1
	ロボット工学	1	1	1	1
	日本建築	1	1	1	1
新津南	普通	4	4	4	4
白根	普通	2	2	2	2
五泉	総合	5	5	5	5
村松	普通	2	2	2	2
阿賀黎明	普通	2	2	2	1
三条	普通	6	6	6	6
三条東	普通	6	6	6	6
新潟県央工業	機械加工	4	4	4	4
	電子機械				
	情報電子				
	建設工学				
三条商業	総合ビジネス	4	4	4	4
吉田	普通	3	3	3	3
分水	普通	2	2	2	2
加茂	普通	4	4	4	4
加茂農林	生産技術	5	5	5	4
	環境緑地				
	食品技術				
	生物工学				
計		154	154	148	146

< 定時制課程 >

高 校 名	学 科	募集学級数	募集学級数の見込み		
		H30	H31	H32	H33
新潟翠江	普通(午前部)	2	2	1	1

< 通信制課程 >

高 校 名	学 科	募集学級数	募集学級数の見込み		
		H30	H31	H32	H33
新潟翠江	普 通	若干人	若干人	若干人	若干人

< 中等教育学校 >

学 校 名	課 程	募集学級数	募集学級数の見込み		
		H30	H31	H32	H33
燕中等 教育学校	前期課程	(2)	(2)	(2)	(2)
	後期課程	2	2	2	2

(エリア③ 長岡市、柏崎市、小千谷市、見附市、出雲崎町、刈羽村)

	H30	H31	H32	H33
中学校卒業者数	4,004	3,930	3,821	3,582
前年差	-123	-74	-109	-239
	H30	H31	H32	H33
	募集学級数	募集学級数の見込み		
全日制学級数	70	69	67	61
増減	-4	-1	-2	-6
定時制学級数	6	6	5	5
増減	0	0	-1	0
全定学級数	76	75	72	66
増減	-4	-1	-3	-6
全日制学校数	16	16	16	16
増減	0	0	0	0
定時制学校数	2	2	2	2
増減	0	0	0	0

◆ 再編整備の概要

平成31年度	予定なし
平成32年度	予定なし
平成33年度	・ 柏崎工業高校を学科改編する。

検討事項	<ul style="list-style-type: none"> ・ 就学の機会や交通事情など地域の特性を斟酌しながら、新たな高校の5つのタイプをバランスよく配置する。 ・ 小規模校の特色化やあり方について検討する。
------	--

◆ 募集学級数の見込み

<全日制課程>

高校名	学科	募集学級数	募集学級数の見込み		
		H30	H31	H32	H33
長岡	普通	6	6	6	6
	理数	2	2	2	2
長岡大手	普通	6	6	6	5
	家政	1	1	1	1
長岡向陵	普通	6	6	5	5
長岡農業	生産技術	4	4	4	3
	食品科学				
	生活環境				
長岡工業	機械工学	6	6	6	5
	電気電子工学				
	物質工学				
	産業デザイン				
長岡商業	総合ビジネス	4	4	4	4
	情報ビジネス	1	1	1	募集停止
正徳館	普通	1	1	1	1
栃尾	総合	3	3	2	2
見附	普通	3	3	3	3
柏崎	普通	5	5	5	5
	普通(理数コース)	募集変更			
柏崎常盤	普通	3	3	3	2
柏崎総合	総合	4	3	3	3
柏崎工業	機械	4	4	4	学科改編
	電子機械				
	電気				
	工業化学				
	工業科*				3
小千谷	普通	5	5	5	5
小千谷西	総合	4	4	4	4
計		68	67	65	59

* 学科改編後に設置する学科については、募集学級計画公表時に示す。

< 定時制課程 >

高 校 名	学 科	募集学級数	募集学級数の見込み		
		H30	H31	H32	H33
長岡明德	普通(午前部)	3	3	3	3
	普通(夜間部)	1	1	1	1
出雲崎	普通(午前部)	2	2	1	1
計		6	6	5	5

< 中等教育学校 >

学 校 名	課 程	募集学級数	募集学級数の見込み		
		H30	H31	H32	H33
柏崎翔洋	前期課程	(2)	(2)	(2)	(2)
中等教育学校	後期課程	2	2	2	2

(エリア④) 十日町市、魚沼市、南魚沼市、湯沢町、津南町)

	H30	H31	H32	H33
中学校卒業生数	1,443	1,365	1,439	1,342
前年差	-124	-78	74	-97
	H30	H31	H32	H33
	募集学級数	募集学級数の見込み		
全日制学級数	35	33	33	33
増減	-3	-2	0	0
定時制学級数	3	3	3	3
増減	-1	0	0	0
全定学級数	38	36	36	36
増減	-4	-2	0	0
全日制学校数	10	10	10	10
増減	0	0	0	0
定時制学校数	2	2	2	2
増減	0	0	0	0

◆ 再編整備の概要

平成31年度	・ 八海高校家庭福祉科と体育科を募集停止とし、普通科内に福祉コース(仮称)と体育コース(仮称)を設置し、「総合選択制の高校」とする。
平成32年度	・ 塩沢商工高校機械システム科内に、地域と連携した建設土木コース(仮称)を設置する。
平成33年度	予定なし

検討事項	<ul style="list-style-type: none"> ・ 就学の機会や交通事情など地域の特性を斟酌しながら、新たな高校の5つのタイプをバランスよく配置する。 ・ 小規模校の特色化やあり方について検討する。
------	--

◆ 募集学級数の見込み

< 全日制課程 >

高校名	学科	募集学級数	募集学級数の見込み		
		H30	H31	H32	H33
小出	普通	4	4	3	3
国際情報	国際文化	2	2	2	2
	情報科学	2	2	2	2
六日町	普通	5	5	5	5
八海	普通	1	2	3	3
	家庭福祉	1	募集停止		
	体育	1	募集停止		
塩沢商工	機械システム	2	2	2	2
	商業	1	1	1	1
十日町	普通	6	6	6	6
松之山分校	普通	1	1	1	1
十日町総合	総合	5	4	4	4
松代	普通	2	2	2	2
計		33	31	31	31

< 定時制課程 >

高校名	学科	募集学級数	募集学級数の見込み		
		H30	H31	H32	H33
堀之内	普通(午前部)	2	2	2	2
	普通(午後部)				
十日町	普通	1	1	1	1
計		3	3	3	3

< 中等教育学校 >

学校名	課程	募集学級数	募集学級数の見込み		
		H30	H31	H32	H33
津南中等 教育学校	前期課程	(2)	(2)	(2)	(2)
	後期課程	2	2	2	2

(エリア⑤ 糸魚川市、妙高市、上越市)

	H30	H31	H32	H33
中学校卒業者数	2,383	2,449	2,351	2,257
前年差	-294	66	-98	-94
	H30	H31	H32	H33
	募集学級数	募集学級数の見込み		
全日制学級数	46	46	44	42
増減	-5	0	-2	-2
定時制学級数	2	2	2	2
増減	0	0	0	0
全定学級数	48	48	46	44
増減	-5	0	-2	-2
全日制学校数	13	13	13	13
増減	0	0	0	0
定時制学校数	1	1	1	1
増減	0	0	0	0

◆ 再編整備の概要

平成31年度	予定なし
平成32年度	予定なし
平成33年度	・高田南城高校を「柔軟な学びを可能とする高校」とする。

検討事項	<ul style="list-style-type: none"> ・就学の機会や交通事情など地域の特性を斟酌しながら、新たな高校の5つのタイプをバランスよく配置する。 ・地域と連携した特色あるコースの設置について検討する。 ・小規模校の特色化やあり方について検討する。
------	---

◆ 募集学級数の見込み

< 全日制課程 >

高校名	学科	募集学級数	募集学級数の見込み			
		H30	H31	H32	H33	
高田	普通	5	5	5	5	
	理数	1	1	1	1	
安塚分校	普通	1	1	1	1	
高田北城	普通	5	5	5	5	
	生活文化	1	1	1	1	
高田農業	生物資源	4	4	4	4	
	食品科学					
	農業土木					
上越総合技術	機械創造工学	5	5	5	5	
	電気情報					
	建築環境					
	土木防災					
高田商業	総合ビジネス	3	3	3	3	
久比岐	普通	2	2	2	1	
有恒	普通	2	2	1	1	
新井	総合	4	4	4	3	
糸魚川	普通	5	5	4	4	
糸魚川白嶺	総合	3	3	3	3	
海洋	水産資源	2	2	2	2	
	海洋開発					
計		43	43	41	39	

< 定時制課程 >

高校名	学科	募集学級数	募集学級数の見込み			
		H30	H31	H32	H33	
高田南城	普通(午前部)	2	2	2	2	

< 通信制課程 >

高校名	学科	募集学級数	募集学級数の見込み			
		H30	H31	H32	H33	
高田南城	普通	若干人	若干人	若干人	若干人	

< 中等教育学校 >

学校名	課程	募集学級数	募集学級数の見込み			
		H30	H31	H32	H33	
直江津	前期課程	(3)	(3)	(3)	(2)	
中等教育学校	後期課程	3	3	3	3	

(エリア⑥ 佐渡市)

	H30	H31	H32	H33
中学校卒業生数	436	413	386	373
前年差	-38	-23	-27	-13
	H30	H31	H32	H33
	募集学級数	募集学級数の見込み		
全日制学級数	12	12	11	11
増減	0	0	-1	0
定時制学級数	1	1	1	1
増減	0	0	0	0
全定学級数	13	13	12	12
増減	0	0	-1	0
全日制学校数	4	4	4	4
増減	0	0	0	0
定時制学校数	1	1	1	1
増減	0	0	0	0

◆ 再編整備の概要

平成31年度	予定なし
平成32年度	・羽茂高校に地域と連携した特色あるコースを設置する。
平成33年度	予定なし

検討事項	<ul style="list-style-type: none"> ・就学の機会や交通事情など地域の特性を斟酌しながら、新たな高校の5つのタイプの機能をもつ学校をバランスよく配置する。 ・小規模校の特色化やあり方について検討する。
------	--

◆ 募集学級数の見込み

< 全日制課程 >

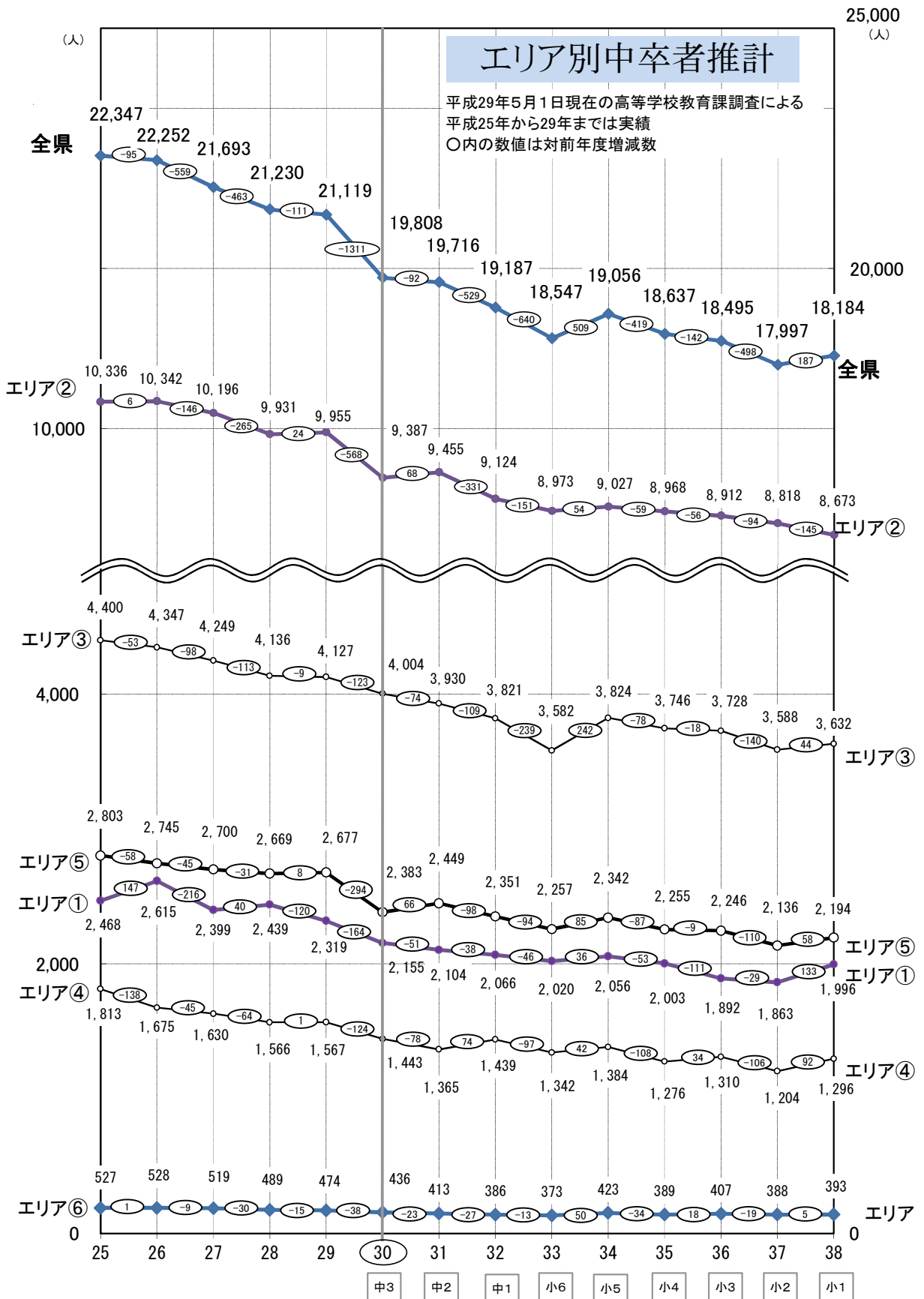
高校名	学科	募集学級数	募集学級数の見込み		
		H30	H31	H32	H33
佐渡	普通	5	5	5	5
羽茂	普通	2	2	1	1
佐渡総合	総合	3	3	3	3
計		10	10	9	9

< 定時制課程 >

高校名	学科	募集学級数	募集学級数の見込み		
		H30	H31	H32	H33
佐渡相川分校	普通(午前部)	1	1	1	1

< 中等教育学校 >

学校名	課程	募集学級数	募集学級数の見込み		
		H30	H31	H32	H33
佐渡中等 教育学校	前期課程	(2)	(2)	(1)	(1)
	後期課程	2	2	2	2



市町村一覧

エリア名	市町村名
エリア①	新発田市、村上市、阿賀野市、胎内市、聖籠町、関川村、粟島浦村
エリア②	新潟市、三条市、加茂市、燕市、五泉市、弥彦村、田上町、阿賀町
エリア③	長岡市、柏崎市、小千谷市、見附市、出雲崎町、刈羽村
エリア④	十日町市、魚沼市、南魚沼市、湯沢町、津南町
エリア⑤	糸魚川市、妙高市、上越市
エリア⑥	佐渡市

問い合わせ先

新潟県教育庁高等学校教育課

企画振興係

電話 025-285-5511（代） 内線3887

Eメール ngt500050@pref.niigata.lg.jp

URL <http://www.pref.niigata.lg.jp/kotogakko/>